

弥富市市議会議員 加 藤 明 由

ご支援賜りましてありがとうございます。私がこれまで行ってきた市民活動です。私が一番最初に行った住民監査請求は、2006 年 11 月でした。

① 当時の市長が 750 平方メートルの土地を市に年間借地料約 67 万円程で貸し、周辺の子供たちの遊び場との事で供用されていました。2006 年 11 月に調査したところ現場は一面に雑草が大人の膝程に生い茂り、使われている様子がうかがえません。周辺住民に徴取したところ、夏休みに 1 週間ほどラジオ体操に使う程度との事で、更に周辺住民には「この土地は、市長が無償で提供して下さっている」と美談になっていました。この時に初めて住民監査請求の制度を知り、ムダな支出であるとして即座に契約の解除を求めました。結果、翌年には契約解除し廃止となりました。（監査結果は、適当な理由を付けて棄却）

この件は 2006 年 11 月 23 日 勤労感謝の日の中日新聞に「市長から借りた土地有効利用されず無駄遣いの声」として現場写真付きで掲載されました。

② 2006 年 11 月 13 日の名古屋タイムズ（既に廃刊）に「弥富市長資産公開せず 10 年」「条例違反の疑い」とのタイトルで大きく掲載。

当時の市長は無投票で当選（2 回）した際に資産公開法で定められた資産公開をしていなかったが、請求を拒否したために私が「知る権利を求め名古屋地裁に提訴」この裁判の判決前に当時の市長は選挙で落選しました。当然首長はその任期開始の日から 100 日以内に公開を求めており裁判では、厳しく糾弾。

③ 期日は忘れましたが 2005 年頃に市長が教育長の人事同意案を提案しました。

その人物を知る人は当時の市長の家族と私のみ、議員は全て面識も無し。それで共産党と以前弥富町長を 20 年勤めその後に議員となった人を含め 3 名は提案説明が不十分として退席したが教育長人事案は同意されました。私は、この人物を知っていましたが少なくとも教育長に相応しいとは、とても思えませんでした。そのために調査したところ、実際には四日市から通勤しているが人事同意案の議案には弥富市の住所が記載され、その住所は市長所有の賃貸マンションである事が判明、架空の住民登録でマンションの中は家具も無く空っぽ。

この時は捜査二課が贈収賄を視野に捜査に入りましたが証拠が得られずに撤退。

この架空の住民登録として名古屋タイムズ紙が大きく報道しました。

結果、当初の予想通り仕事が出来ずに 1 期で退職させました。

④ 選挙公営費の不正で監査請求

各地で起こるポスターの高額請求とレンタカー代の高額請求、監査請求で 3 名の議員から返還させました。

⑤平成 29 年市議会の行政視察の費用の返還請求

常総市を視察した目的は新庁舎完成後 1 年も経過しない時点で鬼怒川が決壊し 1 階が水没した。当時弥富市も庁舎を建設中であったが、この視察後 8 か月経過するも会議は全く行われず、「ただ見に行っただけ」視察に要した費用の返還を求め監査請求を行いました。

(監査結果は、適当な理由を付けて棄却)

- ⑥ 女性の市議会議員が自宅前の4mしか無い狭い道路に車幅の半分をはみ出して車庫代わりに常習的に駐車。近隣の住民が言いにくいのでとの事で代わって撤去要請。(公明党所属の女性議員)
- ⑦ 2019年2月 消防団の施設整備に通常の倍近い工事費が支払われている事が判明。調査すると製造メーカーの定価が60万8千円(実質販売価格は48万円程)の商品が115万8千円で積算されている事が判明しました。この工事を請け負ったのが元弥富市消防団の団長であった電気工事屋である事が判明。市役所の担当課長と電気工事屋は同級生。監査請求と捜査二課が調査に入ったが、監査請求は棄却 捜査二課は証拠が上がらないので撤退
- ⑧ 2019年8月 今回の議員辞職の中日新聞に記載されている大原市議会議長の不信任案の原因となり弥富市との裁判となった市の用水路にはみ出したマンション事件。私に届いた匿名の手紙からマンション擁壁の撤去と借地料を求めた監査請求。この度初めての勧告を手にしました。現在は、名古屋地方裁判所で係争中です。
- ⑨ 2019年5月 同じく弥富市市議会議長の大原功が経営するガス会社のプロパンガスボンベが無断で弥富市所有の土地に置かれ周辺の住宅に配管で供給されている事が判明、これも即刻撤去と借地料の支払いを求め監査請求。この監査請求は監査結果が出される前に即撤去され10万8870円の借地料を素直に支払い決着しました。
- ⑩ 愛知万博が開催され、その後に弥富市とフレンドシップパートナー国であったオランダに町長(当時は弥富町)らが親善訪問その公費の中身が不透明であるとして住民監査請求。(詳細は記憶が不十分)
- ⑪ 20年程前には、弥富町が公用車と消防団の消防車に取り付ける無線機の入札価格が高額過ぎると、抗議共産党議員に資料提供を行い談合を阻止させ3000万円程の予算が計画されていたが、落札価格は、2034万円になった。
- ⑫ 十年近く前に弥富市が同報無線を整備する事が決まり、4億円程が予算化された。私も仕事が無線機の関係であり談合の疑いが濃厚であった。助言と監視で確か2億6千万円位で完了した。
- ⑬ 市議会議員に就任後は、監査請求は一度も行っていませんが、近々中に大原功市議会議長の水路敷地はみだし裁判で請求されている、130万円は弥富市公共用物管理条例による、「不正な手段でその徴収を免れた者は5倍以下の過料」をとる過料部分は全く請求されておらず、過料の請求を求める監査の提出を計画中です。

以上が今までの市民活動で行ってきた内容です。おそらくは他にも記憶が薄れ忘れた部分もありますので、有れば後日お送りします。